

12
月
定
例
会

12月定例会が、12月4日から12月8日までの5日間の会期で開かれました。
市長から31件の議案が提出され、審議の結果、すべての市長提出議案を可決しました。
また、議員から提出された議案は10件で、うち6件を可決しました。

本会議での質問と答弁	2~4P
意見書、請願・陳情	5P

あけまして おめでとうございます



本年も市民の皆様の期待にこたえるよう
議員一同、全力を尽くします。

本会議での質問と答弁

本会議での質問と答弁は、要約したものを掲載しています。

詳細は、3月上旬以降、各市立図書館において会議録をご覧ください。
また、市議会のホームページの会議録検索システムでも3月下旬頃から閲覧できます。

本会議では、各党派から次の12人の議員が質疑・質問を行いました。(発言順。掲載記事の順番とは関係ありません。)

大村	石上	正幸	信一	(日本共産党)
森城	本戸	由美	美光	(自由民主党)
木原	武村	武優	光一	(社民市民連合)
宮橋	田本	博義	一道	(公明党)
河川	田端	和圭	高生	(日本共産党)
原戸	田里	耕一	一郎	(社民市民連合)
	里美	弘美	弘美	(自民市民クラブ)
	弘美	弘美	弘美	(自民市民クラブ)

いじめ防止への取組を！

議員 新聞やニュースなどで、いじめによる子どもの自殺が連日のように報道されている。本市では、今後いじめの防止に向けてどのように取り組むのか。また、いじめに悩む子どもや教師、校長には、駆け込み寺のような相談窓口が必要ではないか。

教育長 いじめの問題は、どの子にも起こり得るものであり、早期発見、早期対応が必要である。

また、いじめが潜在化し、見えにくくなっていること、いじめを見抜く力が弱まっていることなどから、全市で、いじめの実態について総点検を行うことにした。

十二月上旬に、家庭訪問や面談を行い、一月下旬までに、結果をまとめて分析する予定である。

その結果は、いじめに関する啓発資料や研修の教材、いじめ対策マニュアルなどに活用したい。

また、相談体制としては、子ど

公共の場所での客引き規制を！

も総合センターの二十四時間子ども相談ホットラインを始め、各区に窓口を設置している。

さらに、今回、教育委員会と校長などが率直な意見交換を行う場を設けた。そのなかで、学校や校長にとって、どのような相談体制が必要なのか、一体となって検討していきたい。

議員 商店街やJR駅前などで、風俗営業の客引きや女性へのスカウトが行われている。福岡市では、客引き等防止のための条例を制定し、取り組んでいるが、本市も新たな条例制定を検討すべきではないか。

総務市長 客引きなどの行為は、法律と県の条例で規制されているが、単に声をかけるなどの客引きやスカウトは、この対象外である。福岡市では、この対象外行為によって被害が発生したため、条例を制定した。

一方、本市では、小倉駅や黒崎

本市を代表する高校を目指して

駅周辺などで、警察が夜間パトロールを強化しており、現在目立った被害は発生していない。

しかし、市民の安全確保のため、見過ごすことが出来ない問題と考えている。

現在、行政・警察・事業者・地域が連携し、小倉北区堺町周辺の繁華街対策として、客引きや暴力団問題など総合的に取り組む協議会を、十二月中に立ち上げる予定である。

ここでは、関係者が一致団結して客引き撲滅への取組を検討し、条例による規制の必要性も協議していきたい。

議員 戸畑商業高校は、平成十九年度から普通科を新たに設置し、校名も「北九州市立高等学校」へ変更する。普通科ではどのような特色ある教育を行うのか。また、部活動のレベルを今以上に上げ、優秀な人材を確保

成果と課題は？

男女共同参画社会への取組

議員 市長は、これまで男女共同参画社会の実現を目指して、女性問題を重点目標にあげ、様々な取組を行ってきた。市長の任期二十年間の成果と課題をどのように認識しているか。

市長 成果としては、市の審議会などへの女性の参画拡大や、北九州市配偶者暴力相談支援センターの開設などがあるが、特に強調したいのは、女性を中心とする市民の協力である。

具体的な活動には、①アジア女性交流・研究フォーラムの財団法人化のための募金集め、②公害克服に向けた環境問題への取組、③北九州市女性史「おんなの軌跡・北九州」の編集などがある。

このように、大きなことをしようとする時期には、多くの市民と心をつなげて取り組んだ。また、そのような土壌が育まれたことが大きな財産であると思う。

一方、課題としては、①固定的な男女の役割分担意識が残っていること、②職場や地域での指導的地位にある女性が少ないこと、③配偶者などの暴力による被害者が依然として多いことなどがある。

これらの課題の解決に向けた取組を進めていき、「男女共同参画」と言わなくてもよい時代を目指して、市民と一緒に努力する必要があると考えている。



戸畑商業 女子バレーボール部 全国大会での活躍



日明工場

ごみ減量化が進むなか、 焼却工場の体制は？

議員 新しく建設される新門司工場が、平成十九年四月から本格稼働することで、市全体のごみ処理能力は高まる。一方、プラスチックなどの分別強化により、焼却量は減ることが予想される。

そこで、日明工場は数年後に建て替え対象となるが、建設費用を節減するためにも、建て替えずに休止することを検討してはどうか。

議員 合は、風水害の発生など、不測の事態によるごみの増加への対応が難しくなるおそれがある。以上のことから、同工場を休止することは難しい。今後ごみの減量化を図りながら、ごみ焼却工場の将来の体制を検討したい。

NPPOの活動支援策については、

▼パーセント政策▲

議員 ヨーロッパの数カ国で、所得税の一部(例えば、所得税の一部(パーセント))を、市民が指定したNPPOやボランティア団体に、活動資金として分配する「パーセント政策」などが進められている。この政策により、市民の納税意識が高まり、また、NPPOなどによる市民活動の活性化が期待できる。

このような活動支援策を研究し、導入してはどうか。

総務市 本局長 本市では、NPPOなど環境を整えるため、側面から支援をしている。

例えば、「市民活動サポートセンター」では、①設立・運営相談や助成金などの情報提供、②交流の場の提供、③運営上必要な会計やマネジメントなどの講座の開催などを行っている。

また、現在、一部のNPPOなどには、市の事業を委託しており、その能力や専門性が活かされている。

このように、公共サービスの新たな担い手として、さらに積極的に活動できるよう支援したい。また、パーセント政策など財政的な支援策は、他都市の状況などを研究していきたい。

障害児に加え、障害者にも 負担軽減策を！

議員 児童福祉法の改正により、児童福祉施設利用者の利用料負担が増加した。この負担を軽減するため、今回七百三十四万九千円の補正予算が計上されているが、まだ十分ではない。また、障害者にも負担軽減策を行うべきではないか。

保健福祉局長 本市では、障害児施設の利用者に対して、独自の負担軽減策を行うこととしている。

まず、障害児通園施設の利用者には、①食費を食料費のみの負担とすること、②特別児童扶養手当を受給していない家庭や、複数の障害児を通園させる家庭の施設利用料を軽減することなどがあげられる。

また、障害児入所施設の利用者にも負担を軽減するなど、障害児の保護者の要望に応える内容となっている。

一方、障害者の負担軽減策については、障害者自立支援法が平成十八年十月から本格実施されているため、新たな障害程度区分に基づくサービス利用の変化や、国の

負担軽減策の検討など、状況を見極める必要がある。また、障害者団体など関係者の意見や要望を参考に、就労支援などの総合的な施策を考えていきたい。

老朽校舎の建て替えについて

議員 市内の老朽校舎の建て替え対象は、小中学校あわせて八十四校ある。建て替えを進めるために、必要な予算を増やしてはどうか。

なかでも、門司区の風師中学校は、建設から五十四年が経過しており、建て替えを急ぐべきではないか。

教育長 学校施設の建て替えは、昭和四十六年の旧耐震設計より以前に建設された学校を対象とし、原則として建設年度が古く、老朽化が著しい校舎から毎年二、三校ずつ行っている。

しかし、市の財政状況が厳しいため、建て替えを最小限にとどめざるをえない。そこで、今後は、耐震補強などを含む大規模改修を行い、安全で安心して使える校舎にしていきたい。

なお、風師中学校は、市立中学校で最も古い校舎である。校舎の建て替えは現地で行うことが原則であるが、同中学校の敷地が非常に狭いことなど、学校運営を継続しながら建て替えるには、解決すべき問題が多い。このため、建て替え時期やその

方法などを引き続き検討したい。

子育てしやすいまちの実現へ ▼乳幼児医療費助成拡大▲

議員 ※福祉医療制度見直し検討委員会

発表された。答申では、乳幼児医療費のうち通院医療費の助成対象を、現行の五歳未満から小学校就学前までに拡大することが望ましいとされている。

乳幼児医療費への給付増は、子育て中の家庭からの切なる要望であるが、この答申に対する市の考え方を尋ねる。

保健福祉局長 現行の乳幼児医療費は、福岡県から補助を受け、平成十九年一月より初診料などが無料となる。

さらに、今回の中間答申は、通院医療費の助成対象年齢を拡大すること、その実施時期は、乳幼児医療証が切り替わる平成十九年八月が適当であるという内容であった。

市の財源は限られているが、本市を「子育てしやすいまち」にするため、この答申の実現に向け、努力していきたい。

※福祉医療制度見直し検討委員会
北九州市が行う老人医療費、乳幼児医療費、重度障害者医療費、母子家庭等医療費の各支給制度について、実施状況を点検し、費用負担のあり方についての見直しを検討する委員会。
(平成十八年五月設置)

原因と防止策は？

▼誤った預金差押えについて▲

議員 市民が、滞納していた固定資産税を納付期限内に納めたにもかかわらず、銀行預金が差押えられる問題が発生した。この原因と今後の防止策を尋ねる。

財政局長 この問題は、差押えの時点で、税金が納付されていたことを、滞納整理システムでは把握できなかったことが原因である。

これは、市の決算時期であったため、税金の収入データが、同システムに届くのが、通常よりも遅れたことから生じたものである。今後の防止策として、①差押えるまでに十分な時間をとって納付を確認すること、②決算時期の税

金の納付状況は、滞納整理システムだけでなく、市の収納全体を管理する端末でも再度確認すること、各区役所の納税課に周知徹底した。

今後、このようなことが生じないよう職員の研修なども行いたい。

※滞納整理システム

滞納している税金の情報を個別に管理し、折衝経過の記録、催告書の送付、差押え事務などを行うために用いるシステム。

集まれ！北九州の先人たち

議員 本市には、竜巻博士と呼ばれるほど気象学の分野で世界に名を残した藤田哲也氏など、多くの先人たちがいる。彼らを一堂に集めて、その功績をたたえる場を設けたり、市の

ホームページに紹介コーナーを掲載したりしてはどうか。

企画政 策室長 本市にゆかりのある先民に周知し、たたえる場を設けることは、市民が自分のまちに愛着を持ち、また、次世代を支える子どもたちにも良い影響を与えると考えている。

現在、先人たちの功績を一堂に集めて紹介する場はないが、松本清張記念館や北九州市立文学館、来春オープン予定の北九州産業技術保存継承センターなど、それぞれの分野で個別に触れることが出来る場は着実に増えている。

今後は、今ある施設を活用することを考え、どういった方々を紹介すべきかも含めて、先人たちを一堂に集めて紹介する場について研究していきたい。

なお、市のホームページでの紹介コーナー掲載は、先人たちに關する資料の収集や整理を行いながら、その実施を検討したい。



北九州市立文学館 北九州文芸ギャラリー

市長、二十年を振り返る

議員 市長に就任した二十年前に、将来の北九州市の姿を思い描いていたと思うが、そのとおりにまちづくりを進めることができたのか。

市長 これまで、選挙やルネッサンス構想の計画で、このまちがどうあるべきかを考え、多くの公約や目標を掲げてきた。到津の森公園の整備など当初の計画にない事業もあったが、リサイクル行動計画や行財政改革など市独自の事業や、国の事業を、計画を立て、一つ一つ行ってきた。

また、状況の変化に対応するため、五年ごとに計画を見直ししており、二〇〇五年を目標に掲げたルネッサンス構想は、ほぼ実現できたと考えている。

しかし、空港まで鉄道を整備することなど、やり残した点もある。また、市民の安全安心対策や少子高齢化対策などの福祉施策は、これまでも取り組んできたが、まだ不十分である。

これらは、次のまちづくり計画でも目標に掲げており、これまでも目標に据えており、これまでも整備してきた基盤を上手に使って、今後さらに力を入れていく必要がある。

河崎 誠 議員逝去

河崎誠議員（八幡西区選出）は、平成十八年十月四日に逝去されました。

同議員は、建設交通委員会委員長、新空港対策特別委員会副委員長などの要職を歴任され、市政の発展に大きく貢献されました。

ここに謹んで、故人のご冥福をお祈りいたします。

～議会改革に向けて～

北九州市議会では、平成十八年4月に「議会改革協議会」を設置し、政務調査費、費用弁償及び個人研修のあり方について、検討を進めてまいりました。このほど、その協議結果を取りまとめましたのでご紹介いたします。

今後も、市民の皆様のご期待に応えられるよう取り組んでまいりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

北九州市議会議長 中島 慎一

協議結果について

- 政務調査費については、平成十九年度交付分から収支報告書に、領収書等（5万円以上の支出）を添付することにしました。
- 費用弁償については、昨年3月に費用弁償額の減額を行ったばかりであり、他の政令市との均衡も取れているため、現行どおりとすることにしました。
- 個人研修については、議員各自の問題意識に即応した視察等が実施でき有益であるものの、平成二十年度から廃止することにしました。

市議会の虚礼廃止にご理解を！

— 公職選挙法では、選挙区内における次のようなことが禁止されています。 —

- 議員や後援会が諸行事に対して祝儀や協賛金などの寄附をしたり有料のあいさつ広告を出すこと
- 議員や後援会が冠婚葬祭に対して儀礼的な祝儀、香典、供花を出すこと
- 議員や後援会がお中元やお歳暮などを出すこと
- 議員が暑中見舞いや年賀状などの時候のあいさつ状を出すこと

(自筆の答礼は除く)

- 市民や団体が議員に寄附などを求めること

このほか市議会では、次のことを申し合わせています。

- 公職選挙法で禁止されている上記の行為を選挙区外でも自粛する。
- 冠婚葬祭や諸行事に対する儀礼的な祝電・弔電を自粛する。

市民の皆様のご協力をお願いします。

市議会を傍聴してみませんか？

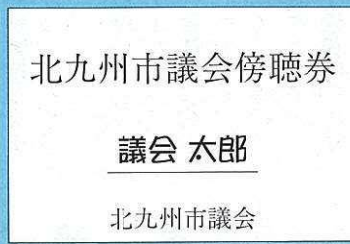
本会議傍聴の流れ

①傍聴者受付

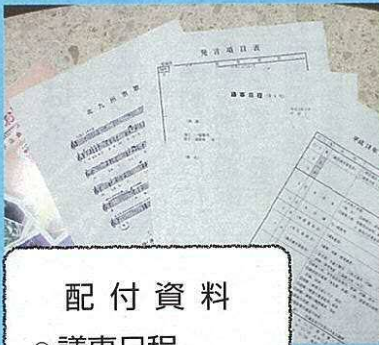


②傍聴券の発行

傍聴券を受け取ります



③配付資料を受け取り、傍聴席へ（本会議場へ）



配付資料

- 議事日程
- 発言項目表
- 定例会会期日程
- 北九州市歌
- 市議会のしおり

傍聴席は3階です。



④傍聴



傍聴終了

お疲れ様でした。

- 車椅子使用の方には、車椅子のまま傍聴できる専用スペースがあります。
- 耳の不自由な方のために、マイクの音を聞き取りやすくする音声伝達システムを備えています。
- 受付は、会議の始まる一時間前からです。
- 先着順に受付します。
- 本会議場の傍聴者定員は137人です。

可決した意見書

市議会では、市政や市民の皆さんの生活にかかわりの深い事柄について改善等を求めるため、意見書や決議を国などへ提出することができます。

今定例会では、8件の意見書・決議が提出され、うち4件を可決しました。その件名等をご紹介します。

○官製談合の根絶のための抜本的対策を求める意見書

○法テラスの更なる体制整備・充実を求める意見書

（要旨）法テラス（日本司法支援センター）の体制をさらに充実させるため、スタッフ弁護士増員や司法過疎対策推進などを要請するもの。

○賃金不払い残業と偽装請負の根絶を求める意見書

（要旨）企業への監督指導を強化し、賃金不払い残業（サービス残業）と偽装請負を根絶するよう要請するもの。

○肝炎問題の早期全面解決とウイルス性肝炎患者の早期救済を求める意見書

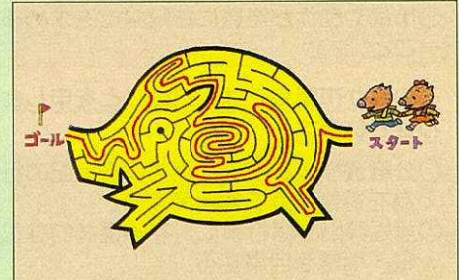
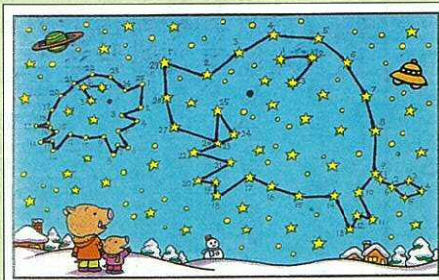
請願・陳情の審議結果

○陳情「JR城野駅のバリアフリー化の促進について」のうち第2項（採択）

○陳情「北九州市立大学の学費値上げ反対について」のうち第1項（不採択）

このほか、請願26件、陳情58件が継続審査になりました。

クイズの解答



お知らせ

▼市議会では、視覚障害（1級か2級）のある方に市議会だよりの点字版、または録音テープを無料でお届けしています。

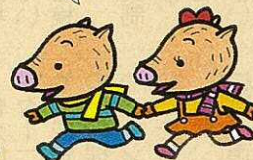
ご希望の方は、ご連絡下さい。▼聴覚に障害のある方が、本会議の傍聴を希望される場合は、要約筆記者及び手話通訳者の派遣先を紹介しています。



イノシシ迷路



仲良くゴールまで行けるかな?



スタート

イノシシ親子はどこかな?

同じ形の星を番号順に線を引くとイノシシ親子が現れます。
※番号のついた星の種類は5種類です。

- ★¹ ~ ★²⁹
- ★¹ ~ ★⁶
- ★¹ ~ ★³
- ¹ ~ ●²⁵
- ★¹ ~ ★³

